

# 潮音寺だより

第 279 号  
平成 19 年 1 月  
電話 052-671-4831  
ファックス 052-671-4856  
E-Mail:choonji@aichi.email.ne.jp

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11

# 賀正亥



# 智目行足

【出典】『華嚴法界義鏡』上

しつかりと  
目を見据え  
智慧磨き  
歩を確かに  
智慧働かせ  
励まれよ  
くれぐれも  
慌てず  
騒がず  
落ち着いて  
励まれよ  
歩まれよ

盆画：小島とよ子

## 往來物『実語教』

「教育の憲法」ともいつべき教育基本法は、敗戦二年後の一九四七年に施行され、国家のためだった戦前の教育を反省し、自主的に考えられる一つの人間を育てていこうとを根本理念にしました。そしてこのたび、その理念を大きく転換させて「公共の精神」を重視する改正教育基本法が十一月十五日、参院本会議で可決されました。この改正に対しての是非を下すことは、現時点では差し控えてさせていただきます。ただ、教育に対して一僧侶として一丁だけは物申したいことがあります。

今日の教育は、科学的・客観的思考力や判断力を重視するあまり、人間が本来持つべき重要な部分の、何かが欠けてしまっております。人間性を問題にする教科「道徳」ですら、この傾向にあり、教える側の教師も、教わる側の児童生徒も、実に面白くない教科で

あるというのが、その実態であります。

平安後期から明治初期にかけての初等教科書を「往來物」と呼びます。往來とは、手紙のやりとりを意味し、かつての教科書には、人間的暖かさが感じられます。参考までに、平安時代末期（作者不詳）に成立した『実語教』を掲げます。特に江戸時代には寺子屋の教科書とされ、『童子教』とともに、中近世児童教育の代表的テキストとして、近世教育・思想に及ぼした影響は多大であるといわれるものです。

山高きが故に貴からず。

樹有るを以て貴しとす。

人肥えたるが故に貴からず。

智有るを以て貴しとす。

富は一生の財。

身滅すれば即ち共に滅す。

智は是万代の財。

命終れば即ち随って行く。

玉磨かざれば光無し。  
光無きをば石也とす。

人学ばざれば智無し。  
智無きを愚人とす。

倉の内の財は朽つるに有り。

身の内の才は朽つるに無し。

千両の金を積むと雖も、

一口の学には如かず。

兄弟、常に合わす。

慈悲を兄弟とす。

財物、永く存せず。

才智を財物とす。

四大、日々に衰え、

心神、夜々に暗し。

幼き時、勤め学はずんば、

老いて後、恨み悔ゆると雖も、

尚所益有ること無し。

故に書を読んで倦むこと勿れ。

学又にも怠る時勿れ。

眠りを除いて通夜講せよ。

飢えを忍んで終日習え。

師に会つて雖も、

学はずんば、

徒に市人に向つが如し。  
 習い読むと雖も、復さざれば、  
 只隙の財を許つるが如し。  
 君子は智者を愛す。  
 小人は福人を愛す。  
 富貴の家に入ると雖も、  
 財無き人の為には、  
 猶霜の下の花の如し。  
 貧賤の門を出ると雖も、  
 智者人の為には、  
 死も泥中の蓮の如し。  
 父母は天地の如く、  
 師君は日月の如し。  
 親族は讐えは葷の如し。  
 夫妻は猶母の如し。  
 父母には朝夕に孝せよ。  
 師君には昼夜に仕えよ。  
 友に交わつて諍つ事なかれ。  
 己が兄には礼敬を尽し、  
 己が弟には愛顧を致せ。  
 人として智無きは、  
 木石に異ならず。

人として孝無きは、  
 畜生に異ならず。  
 二学の友に交わりずんば、  
 何ぞ七覚の林に遊ばん。  
 四等の船に乗らずんば、  
 誰か八苦の海を渡らん。  
 八正の道は広しと雖も、  
 十悪の人は往かず。  
 無為の都是樂しと雖も、  
 放逸の驪は遊ばず。  
 老いを敬つことば父母の如し。  
 幼きを愛することば子弟の如し。  
 我、他人を敬えは、  
 他人亦我を敬う。  
 己人の親を敬えは、  
 人亦己が親を敬つ。  
 己が身を達せんと欲せば、  
 先ず他人を達せしめよ。  
 他人の愁いを見ては、  
 即ち自ら共に患つべし。  
 他人の喜びを聞いては、  
 則ち自ら共に悦ぶべし。

善を見ては速やかに行なえ。  
 悪を見ては速かに避け。  
 悪を好む者は禍を招き、  
 讐えは響きの音に応ずるが如し。  
 善を修する者は福を蒙る。  
 死も身に影の随つが如し。  
 言のりて雖も、食しきを忘るゝとなかれ。  
 或いは始め言みて終わり食し、  
 言して雖も、賤しきを忘るゝとなかれ。  
 或いは先に責ん終りに賤し。  
 それ習ひ難く忘れ易きは、  
 音言の浮才。  
 又学び易く忘れ難きは、  
 書筆の博芸。  
 但し食有れば法有り。  
 亦身有れば命有り。  
 猶農業を忘れざれ。  
 必ず学文を廢することなかれ。  
 故に末代の学者、  
 先ず此書を案すべし。  
 是学問の始め、  
 身終るるまで忘失するることなかれ。

# 平成十九年度年回表

・ 一 周忌	平成十八年	・ 二十三回忌	昭和六十年
・ 三 回忌	平成十七年	・ 二十七回忌	昭和五十六年
・ 七 回忌	平成十三年	・ 三十三回忌	昭和五十年
・ 十三回忌	平成七年	・ 三十七回忌	昭和四十六年
・ 十七回忌	平成三年	・ 四十三回忌	昭和四十年
		・ 四十七回忌	昭和三十六年
		・ 五十回忌	昭和三十三年

## ◎年頭の挨拶

明けましておめでとうござい  
ます。旧年中は、檀信徒各位には、大  
変お世話になりました。

宗祖法然上人八百回大遠忌記念  
事業推進にあたりましては、多大  
なるご援助を賜り、誠に有り難く  
存じ上げます。お陰をもちまして  
無事位牌堂が完成いたしました。  
なお、平成十九年十月二十八日  
(日)には、落慶法要を賑賑しく厳  
修いたします予定であります。詳細に

つきましては、おついで案内させ  
ていただきます。本年も、何卒宜  
しくお願い申し上げます。

## ◎平成十九年度の予定

本年の年間行事は次のとおり  
です。

- ・ 3月21日(水) 春彼岸施餓鬼会
- ・ 8月12日(日) 平和公園墓経
- ・ 8月13日(月) 潮音寺位牌堂墓経
- ・ 8月19日(日) 盆施餓鬼会
- ・ 9月23日(日) 秋彼岸施餓鬼会
- ・ 10月28日(日) 位牌堂落慶法要

詳細につきましては、また改め  
て本誌にて、「ご案内いたします。  
宜しくお願い申し上げます。」

## 雑記

### ▼稚児募集



十月二十八日(日)の落慶法要で  
は、稚児を募集いたします。小学  
生くらいまでのお子様、多数ご参  
加いただけますようお願い申し上  
げます。

### ▼ネコ

先月号で紹介いた  
しましたネコです。



もつすつかり馴れ  
て、めったに爪は出  
さないし、呼べば来るようにな  
り、なかなかのお利口さんです。

### ◆新入りの猫と迎える

お正月 沐魚